



新しい3つの支援

安心して出産・子育てできる環境に

新生児聴覚検査費助成

聴覚障がい早期発見、早期治療で、音声言語の発達への影響を最小限に抑えます。これまで各医療機関で実施し、自己負担が発生していましたが、今年度から市独自にその費用に対し助成します。

対象 生後1カ月未満で、市内に住所を有する乳児
助成額 初回検査に要した費用で、上限 3,000 円（税別）

実施医療機関 【市内の医療機関で出産した場合】 出産した医療機関
【市外の医療機関で出産した場合】 出産した医療機関または市立総合病院

※市外の医療機関で検査を受けた場合、3カ月以内に申請が必要です。詳しくはお問い合わせください。

産婦健康診査費用助成

問診、診察、体重・血圧測定、尿検査、産後うつ病質問で、産後の体調を確認します。

対象 市内に住所を有する方 助成回数 産後2週間と1カ月の2回
助成額 指定の検査費用全額（指定の検査以外の検査を行った場合は、実費負担となります）

実施医療機関 出産した医療機関

産後ケア「ほっと♥ママ、

母子の健康チェック、授乳方法やおっぱいのケアの相談、抱き方や沐浴の仕方、泣き止まない時の対応方法の育児相談などで、産後の不安や負担を減らします。利用方法など、詳しくはお問い合わせください。

対象 生後4カ月未満の乳児とその母親
利用料 1回 500 円（医師の診察などを行った場合は、別途料金がかかります）

利用回数 1回の出産で2回まで
実施医療機関 市立総合病院

【気を付けよう】
「頑張るべきなのかな」と思っている方は多くは、出産後に「こうしたい」「こうありたい」と自分なりの子育ての理想をイメージします。
でも、そのイメージを強く持ちすぎると、実際に赤ちゃんが生まれ、理想通りにならなかった時に、「こんなはずじゃなかった」と理想と現実の違いに戸惑ってしまう方が多いです。
理想と違うからダメということはありません。うまくいかないからと



市立総合病院 中島看護師長（助産師）

実際に、支援を行っている、助産師と保健師に、お母さんと赤ちゃんに接する中で感じている事など、話を聞きました。

切れ目のない支援



赤ちゃんが生まれ、家族が増えることは喜びと期待でいっぱいですが、でも、赤ちゃんのことだけではなく、自分や家族のことなど、いろいろな悩みも出てきます。また、子どもの成長に応じて、心配事もさまざまです。
市は、妊娠から出産、育児まで、さまざまな支援を行っています。今年度から新たに、産婦健康診査費用の助成、産後ケア事業の実施、さらには市の独自事業として、新生児聴覚検査費用の助成を行い、これまで以上に、お母さんが抱える悩みを一緒に考え、乳児期までの切れ目のない支援を行っていきます。

市は、安心して出産・子育てができるよう、さまざまな支援を行っています。
今月号は、今年度から新たに始まった事業、拡大した内容、母子への支援に関わる助産師・保健師の話しをお伝えします。
問合先 岩見沢保健センター（4西3 であえーる 岩見沢3階） ☎25局5540

安心して妊娠・出産・子育てを



助産師が出演して説明します
6月14日(金)
午後5時40分

悩みすぎないでください。

また、赤ちゃんをお世話すること
に一生懸命になりすぎて、インター
ネットや友人などから、いろいろな
情報を集め、それらを全てうのみに
してしまい、自分と赤ちゃんに当て
はめて、「自分はできていない」「う
ちの子が他の子と違う」と思い悩ん
でしまう方もいます。

そういった情報には間違っただけ
もあり、赤ちゃんが10人居れば
成長の仕方も10通りです。いろい
ろな情報を取捨選択する意識を持っ
てほしいと思います。

1人で悩まずに、いつでも相談し
てほしいです。

【自分のままで】

出産を機会に、意欲が無くなり「何
もしたくない」「こんなはずじゃな
かった」「産まなきゃよかった」な
どの思いが強くなり、何もしたくな
い、できない状態になってしまうこ
とがあります。これが産後うつです。
症状が進むと、赤ちゃんへの虐待
や自殺しようとする行動などにまで
つながってしまうため、早期のケア
が必要です。

いろいろなことを気にしすぎない
、背伸びをして何でもやらなく
ちやと思わないようにしてください。
自分は自分のままでいて良いん
です。よく眠って、よく食べるこ
と

【ライフプランを考えると】

多くの方が、妊娠・出産を考える
20歳代から30歳代は、就職したり、
家庭を持つたりするなど、社会の中
での役割が充実する重要な時期で
す。

早くから、子どもを持つか持たな
いか、持つならいつ頃がいいかなど、
ご夫婦でのライフプランをしっかりと
考えてほしいです。

また、赤ちゃんは、欲しいと思っ
てすぐに授かるものではありません。
日頃から1日3食バランスのよ
い食事、適度な運動、良質な睡眠な
ど、健康な体の維持管理を心がける
必要があります。

その上で、なかなか赤ちゃんがで
きにくくて、治療してみようかとい
う方には、不妊・不育症治療費の助
成も行っています。

岩見沢保健センターは、その他に
も、今後のライフプランを考えて、
生活する中で、必要なところへの助
成や支援を行っていますので、気軽
に相談していただきたいと思います。

市は、新しい3つの支援をはじめ
、さまざまな支援により、安
心して妊娠・出産・子育てができ、
不安に思ったことを気軽に相談
できる体制づくりを進めています。

不妊・不育症治療費の 助成の拡大

特定不妊治療の助成額上限 15万円→20万円
一般不妊治療の助成期間 2年→制限なし

不妊・不育症治療費の助成内容

【対象要件】 いずれの助成も、つぎの要件を全て満たすこと

- 夫婦のいずれかが、申請日の1年前から申請日までの間、引き続き岩見沢市に住所を有している。または、夫婦ともに申請日までに岩見沢市に転入した
- 法律上の婚姻をしている ●夫婦のいずれも市税および国民健康保険料の滞納がない
- 夫婦の年間所得額の合算が730万円未満 ●他の市区町村で同一の治療に関して給付を受けていない

【不妊症治療】

| | 特定不妊治療 | 一般不妊治療 |
|---------|--|---|
| 対象者 | 上記対象要件に該当し、北海道特定不妊治療費助成事業の助成決定を受けている方 | 上記対象要件に該当する方 |
| 対象費用 | 体外受精と顕微授精に要する費用 ※詳しくは北海道のホームページでご確認ください。 | 医療保険適用外の人工授精で次のいずれかに要する費用 ●前検査として実施する精子の細菌学検査および HIV などの感染症検査 ●採精（事前採取を含む） ●精子の事前採取から人工授精当日までの凍結保存料 ●精子の濃縮、精子の洗浄など ●排卵誘発のための HCG 注射 ●精子を子宮内に注入する ●人工授精後、感染予防のため服用する抗生剤など |
| 実施機関 | 北海道が指定する医療機関 | 人工授精実施医療機関 |
| 助成金額 | ●採卵を伴う治療1回につき、上限200,000円 ●以前に凍結した胚を用いるなど、採卵を伴わない治療1回につき、上限75,000円 ●状態が良い卵を得られないなどのための治療の中止1回につき、上限75,000円 ※いずれも、北海道からの助成金を控除後の自己負担額を対象。 | 自己負担額の2分の1で、1年間の上限50,000円 |
| 助成回数・期間 | 北海道特定不妊治療費助成事業と同じ | 回数 1年に1回 期間 制限なし |

【不育症治療】

対象者 上記対象要件に該当し、北海道不育症治療費助成事業の助成決定を受けている方

対象費用 不育症の因子を特定するための検査および検査結果に基づく治療に要する費用

※詳しくは北海道のホームページでご確認ください。

助成金額 北海道からの助成金を控除後の自己負担額を対象に、1回の妊娠で、上限100,000円

【いずれも】

申請方法などは、市ホームページで確認するかお問い合わせください。

申請・問合せ先 岩見沢保健センター

も忘れずに。

そして、家族や周りの方は、そんなお母さんの話を聞いて、認めてあげてください。

病院でも産婦健診や産後ケアの時に話を聞きますし、それ以外でも、悩みや不安などがある際は、気軽に相談に来てほしいです。

【産後を心配している方へ】

子どもはかわいい宝物です。子育てを頑張りすぎる必要はありません。「なんとかなるさ」で乗り切ることです。

そして、自分一人で頑張らないこと。家族や周りの人に素直に助けを求めらうことです。市立総合病院でも妊娠中の妊婦健康診査や産後の産婦健診、産後ケア、日々の相談など、赤ちゃんとお母さんを全力でバックアップします。



産後ケアの様子

何でも相談を

【母子との関わり】

保健師は、就学前までのお子さんとその保護者に対して、お子さんが健やかに成長していけるよう、その時々視点で支援していくことが大きな役割です。

具体的には、妊娠した時に交付する母子健康手帳をお渡しする際に、面談をしたり、出産前までに母親学級やペア学級などを開催したり。出産後は、4カ月までのお子さんのいる全ての家庭に訪問して、お母さんの体調確認や心配事の相談、お子さんの体重の増え方や予防接種の話をしていきます。

その後は、乳幼児健診があるので、その時に子育ての不安や悩みを聞いたり、発達の確認をしたりしていま

す。

もちろん、日々の発達の心配や悩み、不安などは、毎日相談を受けていますし、家族健康手帳アプリから相談もできますよ。

※スマートフォンなどを活用したサービスで、家庭での育児記録の共有や健康・子育てに関する相談、予防接種のスケジュール管理などを行うことができます。

iOS



Android



【妊娠・出産・子育ては夫婦のもの】

女性ホルモンは、妊娠してから出産で大きく変化します。そんな中で、妊娠中のつわりだったり、お腹が大きくなって歩くのも大変になったり、他にも肩こりや腰痛などの体の変化も起きてきます。また、出産後3カ月頃までは、気持ちが落ち込みやすく、不安が強くなると言われています。

そんな心と体の変化を近くにいる旦那さんや家族の方が、理解し、気にかけて、できることを手伝ったり、「何か困っていることはない?」「してほしいことは?」など声を掛けてあげたりしてほしいです。そして、お母さんも素直に甘えてください。妊娠・出産・子育ては夫婦のものだから。